

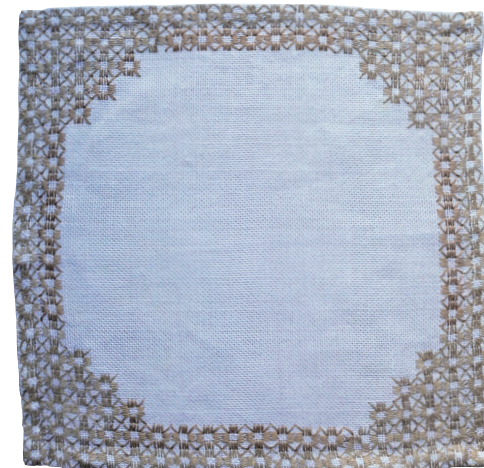


plattsöm (サテステッチ) の向きを縦横、上下で変えることで、つやのある水色の刺繍糸に陰影が生まれ、それぞれの菱形が立体的に見える。周囲にはmyrgång (四辺ステッチ) が施されている。17×17.5cm

33
Originally
August
2024

オリジナル

- 自由な刺繍 ウンベルト 1
- 思い出のクリフォード 5
- 日日読書 5
- メモランダム・本のデザイン 6
- はれのち句もり 7
- 昭和残照 8
- 続ぼくの映画館は家から5分 9
- N'S COLUMN 10
- 魚の環世界 12
- 付録
- トキドキ漫画
- MY KID'S DIARY



毎年、七夕の前後に「織姫の布市」と題して店内を布で彩っています。見ていただく布は、おもにスウェーデンやデンマークの家庭でつくられた手刺繍や手織りの数々です。古いものは1930から40年代、布やクツシヨンは1960から80年代あたりにつくられたものです。どれも丁寧に裏から見ても美しく、時間をかけて仕上げられていることが分かります。

中央が空いたデザインが多いのは、主に陶器の花瓶などの下に敷くため。

p.2 上右 23×24cm
p.2 下 28×28cm
p.3 左 28×28.5cm

掲載しているものの中には、すでに売れてしまったものもあるため、分かるものだけサイズを記載。

毎夏ウンベルトを訪れると美しい刺繍に出会えます。今月はその布を魚住さんに解説してもらいました。(日下)

正方形の布は、花瓶などの下に敷いたり、食器を重ねる際に器と器の間にはさんで用いられました。家庭ごとに必要なものはさまざまなので、とても自由にたくさん刺繍や織物が生まれました。織物に関しては、大なり小なり織機が必要で準備に時間がかかるもあり、比較的容易に始められる刺繍の方が数多く制作されたのでは、と考えています。

デンマーク留学中に刺繍をしたくなり、田舎町に一軒だけの小さな手芸用品店を訪れたことがあります。そこにあった麻布の種類が、想像していたよりずっと豊富だったことに驚きました。デンマークもスウェーデンと同じように、昔から家の中で必要な布類を整えるのは主婦の仕事だったそうです。そして多くの女性が社会に出て働くようになる前まで、家庭では手刺繍が盛んでした。

それにしても、なぜ多くの人（おそら

く女性）が上手に手刺繍をできるようになったのでしょうか。スウェーデンの人で編物や手仕事を趣味にしているアンナさん（1950年代生まれ）と彼女の友人たちに尋ねました。

みなさん「私たちの時代は、子供のころ学校で刺繍について詳しく教わったわ。いろんなサンプルを作ったの」という返答で、「上手な人はずっと続けるし、苦手な人は挫折するのかもね」とも。意外にもアンナさんは刺繍だけは苦手だったそうです。でも、古い手刺繍や手織り布で彩られた家で育ってきたので、手仕事を覚えるのもするのも両方好きなのだと教えてくれました。

ウンベルトでは「格子」や「グリッド」をテーマとして、スウェーデンやデンマークのテキスタイルをご紹介します。新たなWebサイトを今年の秋頃に公開予定です。

自由な刺繍 スウェーデンとデンマーク

魚住寧子 ウンベルト



中島らも Nakajima Ramo
1952-2004

森英二郎 思い出のクリフォード⑬

中 島らものことを初めて知ったのは80年代に
関西の情報誌「プレイガイドジャーナル」や
雑誌「宝島」でコピーライターとして「啓蒙かまぼ
こ新聞」や「微笑家族」というかねてつ食品の広告
のようなコラムと漫画を書いていた頃です。その後
エッセーや小説などをいっぱい出すようになり、ぼ
くも何冊かのエッセー本のカバー絵を描いたことが
あります。それから「笑殺軍団リリパットアーミ
ー」という劇団を結成したり、「らも&MOTHER'S
BOYS」というロックバンドを組んだりしています。
ぼくは直接会ったり喋ったりしたことはありません
が彼と共通の友人はたくさんいます。昔、友人の結
婚パーティーでベロンベロンに酔うてはるのを見た
ことがあります。

もり・えいじろう 1948年、京都府生まれ。関西のタウン
情報誌「プレイガイドジャーナル」の表紙、野外コンサー
ト「春一番」ポスター、『荷風と東京「断腸亭日乗」私
註』（川本三郎 著）、絵本『おとうさんのうまれた うみべ
のまちへ』など。

おおにし・よしたか 1974年、京都府生まれ。京都嵯峨嵐山にある古書店
London Books店主。文芸書を中心に、人文書、美術書、絵本、サブカル
チャーなどを扱う。観光客と地元の人に支えられ営業を続ける。

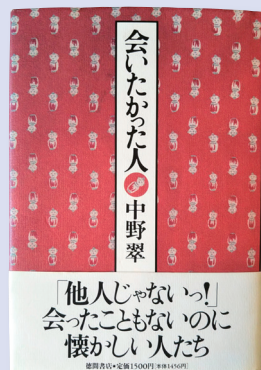
日日読書 大西良貴

30

London Books
616-8366 京都市右京区嵯峨天龍寺今堀町22

中 野翠さんの「サンデー毎日」連載のコラムは毎年年末に単行本化、
年末年始の休みに読むのを楽しみにしている。このシリーズの他
にも、氏には沢く楽しい著作がいくつも。本書はジョージ・オーウェル、
左卜全、P・G・ウッドハウス、内田魯庵などクセ者29人を取り上げた
人物エッセー。二十代始めに読んで、粋で渋好みのセンスに心酔したけ
ど、今読み返すと、著者と自分の違いのほうを感じる。氏は東京人だし
インテリだしファッションにも興味が強いし、という具合。若い頃は
何でも前のめりに同化しようと逸りがちだったが、今は自分の趣味嗜好が
わかり物を客観的に見られるようになったか。それでもやはり本書は著
者の視点が面白く、各人物の核心をつく筆致に唸られる。氏は自分の
好き嫌いを何よりの武器としている書き手だと思うが、本書では意中の
人物について考察することが、自己分析にもなっている。

内田魯庵についての結語など、初読以来ずっと心に残っている。〈「自
分は何者でもなかった」と語った魯庵は、みごとに「読書人」という者
だったと思う。〉



中野翠
『会いたかった人』
徳間書店／1996年



上右 白糸によるkedjestygn（チェン
ステッチ）や efterstygn（バックステッチ）
が映える。パッチワークのように見え
るが、もとは薄く柔らかいガーゼのよ
うな一枚の生地（水色）。

上左 JUNGFRUNは、スウェーデン
語で乙女座の意。魚座もあったので、
作者は12星座を全て刺繍したのかも
しれない。

中 パッチワークではなく、ページ
色の一枚の生地に白い糸で八芒星など
が表現されている。この文様は、地中
海のキプロス島の村に伝わる伝統パ
ターン。ギリシャからスウェーデンに
どのように伝わったのだろう。



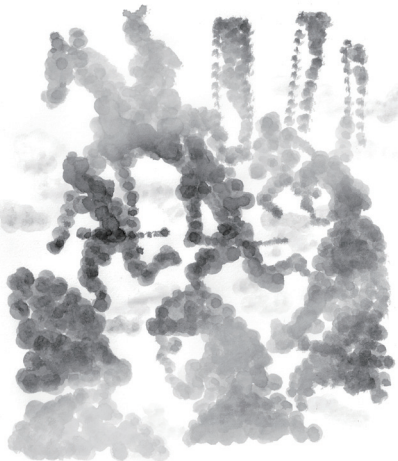
スコーネ地方で盛んだった刺繍、Tvistsöm
（ツヴィストソム）による幾何学模様。古くか
ら日本にも伝わる華文に似ている。



デンマーク・フン島で見つけたウール刺繍。赤い
生地に太陽や植物といったモチーフが生き生きと刺
繍され、ぬくもりが伝わってくるよう。

クッションの中には羽毛がしっかりと詰められていることが多く、弾力がある。

朝霧や枚を啣みし三千騎 葵山

はれのち句もり 二十十三
高山れおな

『俳諧新潮』の秋の句より。「枚」は呉音のマイではなく漢音のバイで読む。隠密裏に行軍するため、声を立てないよう兵士や馬の口にくわえさせた箸のような木片で紐で首に結び付けた。「啣」は「銜」の俗字。この場合はフクムと読む。すなわち、アサギリヤ・パイヲ・フクミシ・サンゼンキ。蕪村を最大の名手として近世には盛んに作られたものの、現代俳句では減多に見ないのが詠史の句だ。明治時代はどうかといえ、『俳諧新潮』の秋の部だけでも他に、紅葉の「兵用うべき新涼の茶漬哉」や抱琴の「籠城の一の櫓に踊る哉」を拾うことができる。

掲句が描くのは、深夜のうちに陣を発し、朝霧に紛れて敵に接近するといった場面か。たとえば第四次川中島合戦では、上杉軍を妻女山の陣地から追い立てようとした武田軍の別動隊も、それを察知して先に陣を捨て八幡原にあった武田本隊に攻めかかった上杉軍も共に相手を出し抜こうと深夜に移動した。当然、兵にも馬にも枚を啣ませただろう。掲句はやや型通りに見得を切ったようなところがあり、秀逸とまでは言えずとも、堂々たる詠みぶりには違いない。『俳諧新潮』へのこの

作者（キザンと読むのか）の入集は四句。朝霧や狩人に逢ひ杣に逢ひ 蝴蝶

もう一句、朝霧の句を。この場合の「杣」は杣人、つまり木こりである。朝霧の中を行くと向こうから人。狩人だ。しばらく行くとまた人。こんどは木こりだ——主人公は宿を早立ちした旅人だろう。山道をたどってゆく時の流れ、空間の推移が、皮膚感覚で伝わってくる。この作者は六句が入集している。

露寒や堀荒したる芋昌 雨声

雨声は一句組。「堀荒したる」は「堀荒したる」の誤植か。猪など野獣の害に遭ったと

いうことも考えられるが、一句の雰囲気からして、収穫後の畠の様子のように思える。芋を掘り取って土が乱れたさまに一種の満足を感じながら、露の湿りと肌寒さに、収穫の秋が過ぎつつあるのを感じているのだ。

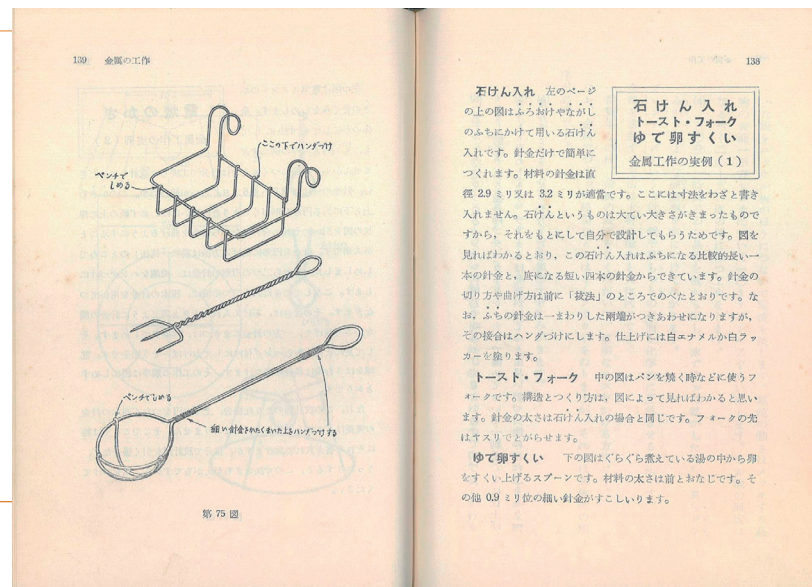
洗ひもせで帳場硯や二十年 翠華

季語は「硯洗」。七夕の前日に硯や筆、机を洗って文字の上達を祈ること。しかし、こちらは商家の帳場で、今さら文字の上達でもない。実用一点張りの大きな硯には、二十年分の墨が固く凝っているに違いない。翠華は入集十三句だから、まずは実力作者の一人。

山越の鯛赤いぞ辛いぞや 四丁

塩漬けの鯛だろう。「赤いぞ辛いぞや」の語調からするとおそろおそろ箸を着けて、その塩辛いのに驚いたといったところか。四丁の素性がわからないからすべて想像になるが、干物はさておき、鯛といえば刺身か煮魚・焼魚と思っている東京の人間が、山間部の宿で食べ慣れないものを食べさせられれば、こんな反応になりそう。入集は五句。

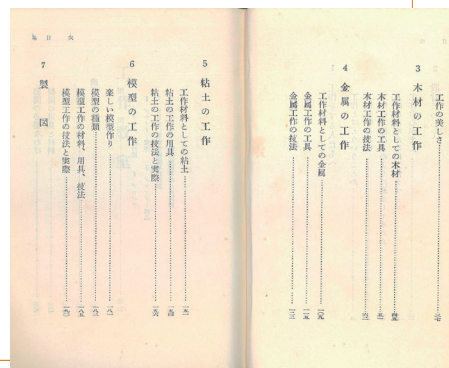
たかやま・れおな 1968年、茨城県生まれ。俳人。「豈」「翻車魚」同人、朝日俳壇選者。パリ・オリンピックは、メダルランキングこそ毎日チェックしていたが、競技は1秒も見なかった。本誌でもおなじみの某画伯に、非国民ぶりを褒められた。

メモランダム・本のデザイン
『工作教室』室靖 その2
（筑摩書房／1952年／四六判上製）
日下潤一

石けん入れ 左のページの上の隅はふちおけやがしのふちにかけて用いる石けん入れです。針金だけで簡単につくれます。材料の針金は直径 2.9 ミリ又は 3.2 ミリが適当です。ここには寸法をわざと書き入れません。石けん入れは大きい大きさがきまったもので、それをもとにして自分で設計してもらうためです。図を見ればわかるとおり、この石けん入れはふちになる比較的長い一本の針金と、底になる短い四本の針金からできています。針金の切り方や曲げ方は前に「鉄線」のところでべたとおりです。なお、ふちの針金は一まわりした剛端がつきあわせになりますが、その接合はヘンダツキにします。仕上げには白エナメル白ワッカーを塗ります。

トースト・フォーク 中の図はパンを焼く時などに使うフォークです。構造とつくり方は、図によって見ればわかると思います。針金の太さは石けん入れの場合と同じです。フォークの先はヤスリでとがせします。

ゆて卵すくい 下の図はぐらぐら煮えている湯の中から卵をすくい上げるスプーンです。材料の太さは前とおなじです。その他 0.9 ミリ位の細い針金がすこしいります。



本文には縦組と横組のページのテキストで、工作についての考え方や工具や材料、技法などがいいねいに語られる（目次参照）。こちらは大い文字で10ポイント、横は9ポイント。横組は見開きで、右ページが作り方の説明で、左ページは完成図と製図。この横組みのページのレイアウトを見てこの本を選んだ。縦もだが横も行間はゆったりして、野囲みのタイトルの入れ方がすっきり。

工作とはいえ、実例は本格的、いや、これくらいでないと工作とは呼べないのだろう。例えば木材では、「ペン皿」「机上がく

ぶち」（裏に支えのついた写真などをいれるもの）「がくぶち」「スケッチ箱」「折りたたみ書架（イーゼルです）」「折りたたみこしかけ」「本たて」「おはこびぼん」「デッキチェアー」「化粧だな／状さし／一りんざし」だ。巻末には附図として、折り畳んだ実寸もしくは10分の8の設計図が貼り付けてある。「グライダー設計図」「グライダー部品図」「EB50型電気機関車設計図」の3種。これらは最終章の「模型の工作」の付録となっている。

「中学生であるあなたがたにとって、いろいろの工作のなかでもとくに興味の深いのは模型の工作——それも動く模型の工作だと思えます。（略）模型をつくるのは遊びだと思えますが、模型づくりはあなたがたの成長にとって一番価値のある勉強の一つです。晴れた日の野原の上空を飛ぶ模型飛行機や、小さな音をたてて走りまわる電車（略）とくに自分で苦労してつくったときこそ、それはほんとうにうれしいものです。」

前回の扉の図版に持ち主の中学生の鉛筆書きのメモがある。「本よむ えいご ソロバン その他、えいごにはアンダーライン。」

上＝本文 中＝目次
下＝扉に鉛筆で書かれた持主の中学生のメモ

ベールボール遠く見ている野菊かな 風天
村の子がくれた林檎ひとつ旅いそぐ

風天は

渥美清の俳名。

その四十代の頃、永六輔に誘われて和田誠らと句会に遊んだことがあった渥美清は、時を置いて一九九一年（平成三）六十三歳の秋、「アエラ句会」に参加した。それは朝日新聞社の雑誌「アエラ」の編集記者・長友佐波子が肝煎りで、カメラマン、デザイナー、出版社社長、銀座のバーのママなどが二、三カ月に一回集う気楽な座であった。句会では渥美清を「ただのおじさん」と遇する約束だったが、「アエラ」で会計をやっており、渥美、清です」と新人会員に自己紹介する口調は「寅さん」そのものだった。彼はいつも一人でひっそりとやってきた。ときに松竹大船撮影所からタクシーをとばして参会したが、出される酒や料理には手をつけず、腕組みして壁に向かって句を練った。座が果てると、アポロキヤップを目深にかぶってすっと消えた。

そば食らう歯のない婆や夜の駅
晩春や下宿のギターつたなくて

渥美清の本名は田所康雄、一九二八年（昭和三）東京・板橋に生まれた。若い頃の経歴ははつきりしないが、二十歳前から役者を志

渥美風天の俳句 ①

関川夏央 昭和残照

二十五

した。二十二、三歳で当時コント実演の頂点であった浅草フランス座に出て、軽快な口跡と動き、それに上品とはいえないものの間をはずさないアドリブで人気をさらった。ストリップの幕間狂言にすぎなかったコント目当ての客を呼び込んだのは彼の手柄である。渥美清が出る日には、フランス座の踊り子やスタッフが舞台袖にむらがって見物した。

しかし芸の伸び盛りであった一九五四年、二十六歳のとき肺結核を病んで埼玉県春日部の療養所に入所した。そこで右肺切除手術を受け、退所したのは二年後であった。以来、酒もタバコもやめて体をいたわった。

赤とんぼじつとしたま明日どうする

冬の蚊もふと愛おしく長く病み

二百二十一句見つかっている風天の句の初期作である。不定形未来への不安と、少年時代の苦い記憶が読み取れる。

六一年、渥美清はNHKテレビのバラエティ・ショー「夢であいましょう」、それに



当時の人気者を網羅したドラマ「若い季節」の両方でレギュラーになった。どちらも生放送である。

「若い季節」では料亭の板前役で、「丈夫で長持ち」のキャッチコピーとともに人気を博した。「夢であいましょう」では意外に垢抜けたタキシード姿の粋なMCとなり、過剰なまでに個性的な顔とすっきりした良声のコントラストで視聴者を魅了した。

映画にも出演した。初期の代表作は、任期があけても除隊したくない、軍隊に置いてもいたいと懇願する手紙を天皇に書いた兵隊を演じた『拝啓天皇陛下様』（六三年、野村芳太郎監督）であった。松竹大船撮影所で若い山田洋次監督と会い、テキヤのタンカ売の口上を実演してみせたのは、その少しのちのことである。

せきかわ・なつお 1949年、新潟県生まれ。作家。代表作に『海峡を越えたホームラン』（双葉社/第7回講談社ノンフィクション賞）『坊っちゃん』の時代』（双葉社/谷ロジローと共作・第2回手塚治虫文化賞）、近著に『人間晩年図巻』シリーズ（岩波書店）。

◆『昭和残照』と同時に進行で、関川夏央さんの『昭和的センス』が、春陽堂書店のWebサイトではじまりました。
https://www.shunyodo.co.jp/blog/2024/08/showateki_sense_1/

続

ぼくの映画館は家から五分

31

伊野孝行

□ マ教皇は神の代理人、その権威には皇帝さえ跪く——なんてのは中世の話。1858年、教皇領はイタリア統一運動の邪魔だった（この時点でまだイタリアという国はない）。腐っても鯛の教皇ピウス9世はいまだキリスト教の王であった。

ある夜、ユダヤ教の家族の元に教皇領の警察が来て、6歳になる息子エドガルドを連れ去る。赤ちゃんの時に病気にかかり、メイドが「このままでは死んで地獄に堕ちるわ」と勝手にカトリックの洗礼を授けていたことが判明したためだ。ナニソレ？ 教皇領の法律では異教徒にキリスト教徒は育てられないらしい。中世の尻尾は切られる寸前にピクンと動き、家族の運命を変える。

時はすでに近代、新聞は誘拐事件だと書き立て国際的スキャンダルに発展する。ロスチャイルド家も騒ぐ。命に変えても連れ戻したい両親。一度母親と面会が叶った時、エドガルドは「毎晩シエマ・イスラエルを唱えているよ」と泣きじゃくった。この事件にムキになっていたピウス9世は自分の元でエドガルドを教育する。少年は身体の内にもキリスト教を取り込み成長する。

1870年、教皇領はイタリア王国の一部になり、やがて教皇は死ぬ。司祭となったエドガルドは危篤の母に会いに来る。そして彼女に洗礼を施そうとする！ 拒絶する母の目がなんとも言えない。苦い史実に舌が痺れる。



いの・たかゆき 1971年、三重県生まれ。イラストレーター。第44回講談社出版文化賞、第53回高橋五山賞。著書に『画家の肖像』『となりの一休さん』などがある。テレビアニメに『オトナの一休さん』。最新刊は南仲坊さんとの対談本『いい絵だな』。

西岡琢也

ビクトル・エリセ再臨

長命

には秘訣がある。飲酒せぬこと、そしてケチ。脚本家の先輩たちを見ていて気付いた。代表例は新藤兼人。享年百。ね、すごいでしょ？

脱稿した脚本を金庫に入れ、取りに来たプロデューサーに、今、脚本料を全額払わねば渡さぬと言う。藝科の別荘で、覚えてたで麻雀やるのが嬉しくて仕方ない妻・乙羽信子を入れて雀卓を囲んだ（乙羽に付き合わされた）仲間に、投了後ショバ代を請求したとかエピソードに事欠かない。ちなみにこの別荘、『午後の遺言状』（95）のロケセットでフル稼働させ、元を取った……と思うよ。

『安城家の舞踏会』（47）以来の盟友、吉村公三郎監督（愛称「ハムさん」。名前の「公」由来）が朝、自宅で倒れ通いの家政婦に発見され急逝した。享年八十九。訃報を聞いた新藤さんが、「上手くやったなあ」としみじみ詠嘆したのを僕は間近で聞いた。当時八十八歳。リアリストの新藤さんは切実に、自分の死に方を考えているんだと思った。

ビクトル・エリセの三十一年ぶりの長編新

作『瞳をとじて』（23）は、元映画監督で老齡の作家ミゲルが、自作の撮影中に突然消えた俳優フリオの失踪事件を探り上げるテレビ番組のスタッフに背中を押され、奔走する話だ。

フリオは映画の中で生きている。本人がいなくなっても映画のフリオは残る、それも一つの生き方（死に方）ではないかとミゲルは考える。エリセがそんなロマンチックな（終活）論を提示するのは、残された未完の映画『フィルムがあるからだ』。

その撮影済みのフィルムは、当時のスタッフの編集マンが倉庫に大切に保管している。そこには沢山のフィルム缶もある。編集マンはデジタル化したいが、誰もフィルムに見向きもしないと嘆く。

エリセはインタビュアーに答えて、映画は二十世紀の偉大な大衆芸術で、「その消滅は大きな損失」と慨嘆している。映画史に名を残す監督たちが映画・映画館について撮っているがと問われ「映画という文化の黄昏の表現」と答えている。本作は八十歳を越えたエ

リセの死に方（生き方）についての考察だが、映画への痛切な愛惜にも満ちている。

ミゲルが出演した番組が放送され、視聴者がフリオは高齢者施設で働いていると知らせてくる。ミゲルが訪ねると確かにフリオがいた。しかし記憶を失っている。医者は過度の飲酒で撮影中に記憶を失い、そのまま失踪したのだらうと言う。ミゲルは施設に滞在、フリオの記憶を取り戻そうとするが叶わない。そうだ、映画だ！ 未完の映画をフリオに観せよう！ ミゲルは編集マンにフィルムを持って来させ、町の閉めたばかりの映画館で上映しようと計画する。久しぶりに映画館を開けたオーナーはフィルム映写機二台並ぶ映写室でミゲルらに、昔近くで撮影がありラッシュ（未編集フィルム）をここで上映したと話す。泣かせるなあ。

いざ上映。フリオはスクリーンのかつての自分の姿に目をこらす。果たしてフリオは記憶をとり戻すか……

エリセの長編第一作『ミツバチのささやき』（73）の主役の六歳の少女（アナ・トレント）が、五十年ぶりにフリオの娘役で出演しているのも話題だ。役名も同じ「アナ」。

三十一年、五十年と言われると、たかだか七、八年、脚本が映画化されないで腐っている自分を思わず顧みてしまう。

エリセの次回作が観たい。エリセ、百まで生きよ！ あ、こっちが先にくたばるかな。

不朽

の名作『ウエストサイド物語』（61）をスピルバーグがリメイクしたが、観ずに無視していた。最近配信でその『ウエスト・サイド・ストーリー』（21）がアップされ、思わず観てしまった。不覚だった。予想通り前作に遠く及ばない。スピルバーグの悪あがきばかり目についた。なぜスピルバーグは引き受けたのか。

前作からの改変点がいくつかある。

前作でアカデミー賞助演女優賞受賞のリタ・モレノが製作総指揮で、白人不良少年グループ・ジェット団の溜まり場のドクの店の店主（白人の亡きドクと結婚したブルトリコ女）役。ジェットの少年や店で働く元ジェットのトニーに自分の境遇を語り、対立するブルトリコ不良少年グループ・シャーク団との融和を説く。モレノに花を持たせたんでしようね。

あと、トニーと恋仲になるマリア（対立するグループの男女の恋愛の元ネタは、勿論『ロミオとジュリエット』が兄から当てがわれる青年チノを夜間学校に通う頭のいいメガネ君に変更、警官のシーンも増えた。全体に台詞も多く饒舌で、万事分かりやすい。

前作の映画史に残るプロローグは、ニューヨークの町の空撮の大俯瞰（港や公園、オフィス街から、少年たちの住む貧民街へ）から始まる。本作の冒頭も空撮だがそこはニューヨークの再開発地域で、古い建物が解体され

さながら空爆跡の廃墟のようだ。（戦争の時代）を意識してか。マンホールの蓋が開いて、何とジェットの少年たちが地下から登場する。抱えた缶のペンキを、壁に描かれたブルトリコの国旗にぶっかける。するとそこへシャーク団が現れて……ね、何か無理矢理変えようとかあがいてるでしょ？

『物語』のプロローグは圧巻だった。少年たちがほぼ台詞なしで、激しく踊りファイトする。ダンスの力強さ、斬新さ！ここはロバート・ワイズと共同監督のジェローム・ロビンズ（57年の舞台版の産みの親）が演出を任された。完璧主義のロビンズはダンサーをシゴキ続け、撮影が伸びに伸び製作費が膨らむ。ロビンズは全体の六割撮った（ダンスシーンはほぼ撮り終わっていた）時点で誠首される（『ストーリー』はレナード・バーンスタインの音楽をそのまま使っているが、ダンスは振付が入り変更多し）。

前作より「多い」。プロローグでも少年たち以外にやたら人が出てくる。様々な移民が彼らの側を行き交う。前作がほぼ少年たちだ

けで話が進み、彼らの世界の小ささ、孤立を印象づけた。ナンバーも独唱が多かった。今回は人があるので、誰かに歌いかけるナンバーが増えた。モレノの役に象徴される、争いやめ人と共生せよと言う隠喩か。

そして「広い、大きい」。ドクの店もダンス会場の体育館も、アナとマリアが働く洋装店も広い、大きい。前作は「狭い」町に少年たちが肩を寄せ合い生きていた。

「アメリカ」「クール」は劇中屈指のナンバーだが、屋上から町中に場所を変えた「アメリカ」はともかく、ジェットの少年が決闘前に拳銃を手に入れた所で「クール」を使うのは、歌の意味とそぐわない。「アイ・フィドル・ブリテイ」を決闘の後に持ってきたのも致命的な誤り。トニーと知り合って浮かれるマリアはここじゃないでしょ。

『物語』を観直すと、個性豊かな俳優たちの「顔」がある。そしてカラフル。スピルバーグはそれを壊し、無個性な「顔」を並べ灰色の世界を作った。それが引き受けた理由？

西岡琢也
スピルバーグはなぜ、
名作のリメイクを引受けたのか

Apple objects (りんごのかたちが立体的に表現されたもの)を少しずつ集めています。りんごと聞いてまず思い浮かぶのは、ビートルズが設立したレコードレーベル、Apple Recordsのシンボルマーク。そのヒントとなったルネ・マグリットによる青りんご。それから、Rob Janoff (ロブ・ジャノフ/アメリカ/1953-) によってデザインされたAPPLEのかじられたロゴマーク。歴史をずっと遡ると『旧約聖書』に出てくる禁断の果実、または智慧の象徴。古



白樺木片 幅3cm 高さ8.2cm
GOG 縦10.5cm 横12.5cm 高さ14cm
輪切り(最も直径の大きなスライス) 直径約7.5cm 厚み0.8cm

魚の環世界 31

魚住寧子

タイトルレタリング……ヨコカク(岡澤慶秀)

ウンベルト Umwelt Textiles & Objects
604-0962 京都市中京区夷川通御幸町西入達磨町588-1

この夏は、小学一年生の息子と一緒に、長崎の実家に10日間帰省。作業ができるように環境を整えて、はじめて実家で仕事をした。田舎の一番いいところは、静かなところ。昼間は、とんびの声と蟬の声をきながら仕事をした。とんびの声なんて、何年ぶりにきいただろうか。夜は、秋の虫がもう鳴き始め

ていた。都会の虫とは違って、荒々しく、強く生きている声だった。実家で暮らしていた頃は、自室の窓から海が見えていたが、家の向かいにある竹藪がずいぶん伸びて、海を隠してしまっていた。(赤波江)



E.Mori

くからある身近な果物だけに、古今東西の絵画や彫刻に登場するのはもちろんのこと、りんごのオブジェは買付中に幾度となく見かけるもののひとつです。

噛った後のりんごの芯(左)に見えるのは、白樺の木片を削り作っています。スウェーデン・ストックホルムの工芸品店SVENSK HEMSLÖJD(スヴェンスクヘムスロイド)で見つけました。20個くらいはあったでしょうか。手仕事のため、細いのや太いのいろいろの中から自分好みのひとつを時間をかけて選びました。

フィンランドのARABIA窯でつくられた台付の陶製のりんご(中央)は、4分の1が切り取られたかたち。Gunvor Olin-Grönqvist(グンヴァル・オリン=グロンクヴィスト/1928-2005)によるデザインです。彼女はARABIAのなかでも1930年代に設立されたArt department 部門に長年にわたって所属。生物、野菜や果実、風景といった身近なモチーフをユニークなおブジェや食器のデザインに昇華しました。

輪切りと4分の1になったりんご(右)は日本製です。つやのある皮にちょっとキズがあったり、切り口が酸化してわずかに茶色みを帯びているところは、まるで本物のよう。そう思って手に取ると意外なほど軽く、驚きが二倍になります。食品サンプルとして作られたのか、用途と素材は不明のまま。でも謎が残る点もまた愛おしく思っています。

うおずみ・やすこ

1977年、兵庫県姫路市生まれ。Umwelt Textiles & Objects店主。学生時代にテキスタイルを学ぶため、デンマークへ留学。帰国後、古美術店に勤めたのち2012年、京都・夷川通にUmweltを開く。

イラストレーターの森英二郎さんは若いころ、三島喜美代さんのデッサン教室に通っていた。6月の4展につづき中之島美術館の木下佳通代展が素晴らしかった。NHKテレビのいけずな京都のおじさん、井上章一の『つくられた桂離宮神話』(1986)サントリー学芸賞。講談社学術文庫版(1997)を古書店で。タウトの『発見』の謎と桂離宮の評価を検証する傑作。批評するならこの本の彼のような綿密な調査は大切だ。井上は、いまだに建築史方面から冷遇されているのだと文庫版あとがきで愚痴る。〈建築にまつわる言及が時代によってねじまげられていく様子を、えがいてきた。〉と書く。(日下)

今月のあとがき

Originally
August
2024

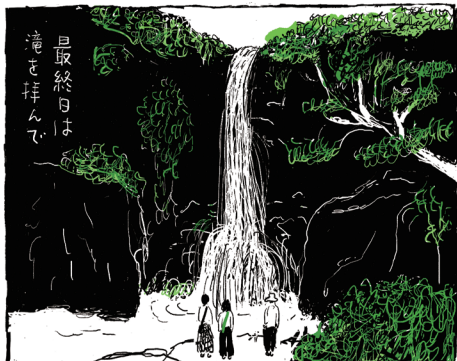
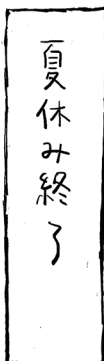
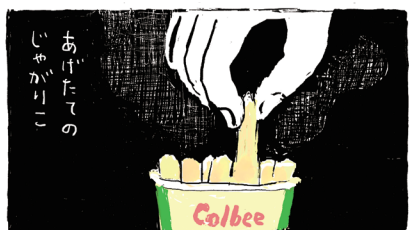
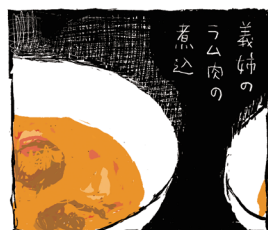
33

オリジナル

2024年8月15日発行 <ロゴデザイン>ヨコカク <編集・デザイン>赤波江春奈+日下潤一 <印刷・製本>グラフィック
[発行]ビーグラフィックス ©B GRAPHIX 2024, Printed in Japan 【無断転載禁止】 お問い合わせ=akabae@bgx.jp

◆Web=bgraphix.com ◆Twitter & Instagram=@bgx_book_design ◆日下潤一のプログ=www.bgx.jp/blog/
「オリジナル」はBGXが毎月発行するフリーペーパーです/100部発行

◆ロンドンブックス(京都・嵐山) フラヌール書店(東京・不動前) ウンベルト(京都・夷川)に10部ずつ置いてあります



出 産以来、ずっと悩んでいる。本を読む時間が無い。

なんとか読む時間をつくろうと試行錯誤。自分が読める本を、息子に読み聞かせてしまったり、朝早く起きて読んだり。息子が成長して、この1、2年は読む時間も増えてきたが、休日、本に夢中になりすぎて、夕飯を作るのを忘れたりする。あー、ダメだ。読書用に、24時間にプラス1時間ください神様。

一年生の息子の夏休みの宿題のひとつに、学校の図書室で借りた本を読んで感想を書く、というものがある。読書感想文とは違う。「夏休み読書カード」に本のタイトルと感想を書く。感想を書く欄は、たったの1行。しかも、5冊借りてきたうちの3冊だけでOKらしい。こんな宿題、超楽じゃん！

息子が借りてきた5冊。『カエルくんのみずたまり』『科学のアルバム・カプトムシ』『コミック版日本の歴史・関ヶ原の合戦』『ぼくの先生は東京湾』『危険生物図鑑』。

本を読む時間がほしいわたし、本を読む宿題がある息子。家にいると仕事や家事が気になってしまったり、家にいると遊んではかりの息子。お互い、なかなか読むことに集中できない。そこで思いついたのが（一緒にカ



わたしの関ヶ原のイメージ

フェで本を読もう作戦」。金曜の夜だったので〈金曜夜の読書会〉と名付けた。

「カフェで本読むなんて、大人みたいでしょ」というとすぐに乗ってきた。よしよし。

息子は「大人みたい」と言われるのが好き。

それぞれ1冊本をもって、近所のコーヒーチェーン店へ。息子ももってきたのは『コミック版日本の歴史・関ヶ原の合戦』。アイスココアの生クリームを舐めながら、「この店の音楽、なんかダサいね」などと言っている。「はいはい、まずは15分間おしゃべり禁止で本を読むよ。先におしゃべりした方が負け!」とスタート。

5分経過。息子が言う。

「ねえねえ、関ヶ原って、どんなかんじ?」

話しかけられても、無言で首を振って諷めるつもりだったのに、そのぎっくりした問いかけがおかしくて、つい反応してしまう。

「関ヶ原がどんなかんじかは、その本を読めば分かるんじゃないの?」

「この漫画さあ、みんな顔が似てるんだよね」

「あはは、そりゃダメだわ」

「お母さん、関ヶ原行ったことある? どんなかんじ?」

「行ったことはないけど、電車で通過したところにある。お母さんの中では、関ヶ原はうす暗い原っぱってかんじ……」

「行ってみたいなあ、関ヶ原!」

そんな彼を見ていたら、わたしも急に興味がわいてきて、スマホを取り出し、東京から関ヶ原までのルートを検索。関ヶ原まで行くなら、彦根城にも行けるんじゃないの。いいね、琵琶湖も見られるし、行こう行こう。

結局、わたしはちっとも本が読めず、初回の〈読書会〉は終わった。

それでも、めげずに続けるつもり。だってわたしは、本が読みたい。

息子の「夏休み読書カード」は今のところ、まだひとつも欄が埋まっていない。

文と絵 赤波江春奈

関ヶ原、どんなかんじ?

MY KID'S DIARY 8